

令和7年度12月補正予算の概要（一般会計）

(千円)

No.	款	目	予算書 ページ	区分	別 紙	事業名	補正額・財源	事業内容	補正理由・効果等
企画政策課									
1	総務費	企画費	15	拡充	○	高齢者タクシーチケット助成事業補助金（マイナンバーカード実証運行）	事業費 6,100 特定財源 国 県 市債 基金 その他特財 一般財源 6,100	既定予算：32,000 運転免許証を返納するなどした高齢者の移動手段を確保し、外出機会の増加を促し、高齢者福祉の増進を図ることを目的として実施している本事業について、マイナンバーカード利用へ移行する1月以降、利用者や市議会からの意見をもとに、より利用しやすい制度へ変更する。 令和7年度については、マイナンバーカード移行実証期間（1月～3月予定）を設け、1人2,000円分のポイントを付与する。 なお、令和7年度中のみ、既発行済の紙チケットとの併用での実施とする。 【事業費内訳】補助金 6,100	既存の高齢者タクシーチケット助成事業補助金を4月からマイナンバーカードを活用した制度に移行することに伴い、実証期間を設けるため。制度変更により、高齢者のより一層の外出支援に寄与する。
2	総務費	企画費	15	新規	○	地方創生×N P（ネイ チャーポジ ティブ）推進 事業	事業費 300 特定財源 国 県 市債 基金 その他特財 300 一般財源 0	既定予算：なし カブトガニを笠岡市における生物多様性のシンボルとして位置づけ、講演会やフィールドワーク・ワークショップをとおして、笠岡市の自然環境を活かした施策の提案や政策提言をしてもらう。 【参加予定者】近隣大学、地元高校、地元企業、行政、漁協など 【事業費内訳】講師等謝礼 200 費用弁償 100 【特定財源】寄附金 【寄附者】中国興業（株），（株）太陽	内閣府地方創生推進室のモデル事業に採択され、伴走支援を受けられこととなったため、補正予算で計上する。 また、事業参加者を広く集い、関係人口を創出することを目的とする。
デジタル推進課									
3	総務費	一般管理費	15			滞納照会シス テム改修事業	事業費 1,920 特定財源 国 県 市債 基金 その他特財 1,700 一般財源 220	既定予算：なし 国の標準化事業によりガバメントクラウドに上がる滞納データを確認できるようにするため、滞納照会システムの改修を行う。 【事業費内訳】総合行政情報システム委託料 1,920	ガバメントクラウドに上がった滞納データと連携し、滞納の有無を原課にて即時確認することができるため、迅速な補助金等の交付に寄与する。

No.	款	目	予算書 ページ	区分	別紙	事業名	補正額・財源	事業内容	補正理由・効果等
4	総務費	一般管理費	15	新規	○	業務効率化システム導入事業	事業費 950 国 県 市債 基金 その他特財 一般財源 950	既定予算：なし AI-OCR（書類に記載されている文字を読み取り、テキストデータに変換するもの）とRPA（人がパソコン上で行う定型的な操作を、ロボットに自動実行してもらうもの）を導入する。 【事業費内訳】業務効率化システム利用料 950	本システムを導入することで、時間を要していた単純作業を自動化し、業務の効率化を図る。今年度で当該事業に係る特別交付税措置が終了するため、補正にて対応する。
総務課									
5	総務費	諸費	15			過誤納金等還付金（国庫支出金等）	事業費 10,940 国 県 市債 基金 その他特財 一般財源 10,940	既定予算：97 過年度に歳入した国庫支出金の実績確定に伴う返還金の追加 【事業費内訳】過誤納金等還付金 10,940	返還金のうち、次期補正予算までに返還処理が必要なものがあるため。
税務課									
6	総務費	諸費	15			過誤納金等還付金（市税）	事業費 21,700 国 県 市債 基金 その他特財 一般財源 21,700	既定予算：21,840 法人市民税の確定申告に伴う還付金の追加 【事業費内訳】過誤納金等還付金 21,700	法人市民税の申告により多額の還付金が発生する見込となり、既定予算額では不足する状況となつたため。
7	総務費	賦課徴収費	17	新規		賦課徴収システム改修委託料	事業費 750 国 県 市債 基金 その他特財 一般財源 750	既定予算：なし 督促手数料の廃止に伴う賦課徴収システムの改修を行う。 【事業費内訳】電算システム改修委託料 750	督促手数料の廃止に伴い、賦課徴収システムの改修費用が発生する見込となつたため。

No.	款	目	予算書 ページ	区分	別紙	事業名	補正額・財源	事業内容	補正理由・効果等
市民課									
8	総務費	戸籍住民基本台帳費	19	新規		コンビニ交付システム更新委託料	事業費 440	既定予算：なし 令和8年度に住民票等の交付手数料の見直しを行うにあたり、コンビニ交付のシステム改修を行う。 【事業費内訳】電算システム改修委託料 440 【改正後手数料】200円（窓口交付 400円） ※令和8年4月1日から適用（改正前300円）	令和8年4月からの実施に向けて、事前のシステム改修が必要となったため。 コンビニにおける証明書等の自動交付サービスの利用を促進し、市民の利便性向上を図る。
9	民生費	医療給付費	21			子ども医療給付事業	事業費 11,150	既定予算：209,240 子ども医療給付費の増に伴う給付費の追加 【事業費内訳】子ども医療給付費 11,150	感染症の流行による医療給付費の増加により、既定予算額では不足する状況となったため。
人権推進課									
10	民生費	隣保館費	21	新規		吉田文化会館空調改修工事	事業費 3,080	既定予算：なし 吉田文化会館集会室冷暖房空調設備の一部が故障し使えなくなったことから、更新を行う。 【事業費内訳】工事請負費 3,080	吉田文化会館は指定避難所であることに加え、定期的な講座等も行われていることから、早急に更新を行う必要があるため。
健康推進課									
11	民生費	社会福祉総務費	21	新規		国民健康保険事業特別会計繰出金	事業費 11,310	既定予算：なし 令和4年度から令和6年度に実施した健康ポイント事業のうち、国保被保険者、後期高齢医療対象者以外の者に支出した報償費の相当額について、一般会計で負担する。 【事業費内訳】繰出金 11,310 令和4年度分 4,533 (報償費決算額 8,940) 令和5年度分 4,030 (報償費決算額 8,074) 令和6年度分 2,747 (報償費決算額 5,526)	国民健康保険事業と一般会計で負担すべき費用を整理し、適正な負担を行う。

No.	款	目	予算書 ページ	区分	別紙	事業名	補正額・財源	事業内容	補正理由・効果等
子育て支援課									
12	民生費	児童福祉総務費	23	新規		施設等訪問用自動車購入費	事業費 1,700 特定財源 国 県 市債 基金 その他特財 1,700 一般財源 0	既定予算：なし 企業版ふるさと納税により、赤ちゃん訪問や学校・園への巡回相談等で使用する公用車を購入する。 【事業費内訳】備品購入費 1,700 【特定財源】寄附金 【寄附者】(株)松原組	企業版ふるさと納税の受納に伴い、購入を行う。
13	民生費	児童館費	23	新規		大井児童館備品購入費	事業費 1,000 特定財源 国 県 市債 基金 その他特財 1,000 一般財源 0	既定予算：なし 企業版ふるさと納税により、来館者用備品（遊戯用備品、図書等）を購入する。 【事業費内訳】備品購入費1,000 【特定財源】寄附金 【寄附者】(株)松原組	企業版ふるさと納税の受納に伴い、購入を行う。
こども育成課									
14	民生費	児童委託費	23			私立保育所保育実施委託料	事業費 13,900 特定財源 国 7,130 県 2,830 市債 基金 その他特財 一般財源 3,940	既定予算：59,024 公定価格の改定等に伴う私立保育所保育実施委託料の追加 【事業費内訳】私立保育所保育実施委託料 13,900	公定価格の改定等により委託料に不足が生じるため。
15	民生費	認定こども園費	23			認定こども園修繕料	事業費 1,760 特定財源 国 県 市債 基金 その他特財 一般財源 1,760	既定予算：4,224 みのり認定こども園及びあやめの杜認定こども園の故障した空調の修繕を行う。 【事業費内訳】修繕料 1,760	室内の適切な温度管理を安定的に行い、園児の健康被害を防止する観点から、早急に修繕を行う必要があるため。

No.	款	目	予算書 ページ	区分	別紙	事業名	補正額・財源	事業内容	補正理由・効果等
16	民生費	児童措置費	23			施設型保育事業	事業費 89,200 国 50,300 県 19,120 市債 基金 その他特財 一般財源 19,780	既定予算：755,200 公定価格の改定等に伴う施設型給付費の追加 【事業費内訳】認定こども園等施設型給付費 89,200	公定価格の改定等により給付費に不足が生じるため。
建設管理・事業課									
17	土木費	道路新設改良費	27			篠坂スマートICアクセス道路等整備事業	事業費 168,500 国 79,280 県 市債 71,200 基金 その他特財 9,934 一般財源 8,086	既定予算：228,250 国の交付金の追加を受け、事業の進捗を図るため、家屋の撤去に伴う補償、家屋調査業務、道路改良工事委託等を行う。 【事業費内訳】 委託料 267,774 工事請負費 ▲160,000 補償費 59,926 借上料 800	国の交付金の追加交付があったため。
18	土木費	港湾管理費	29			港湾施設長寿命化事業	事業費 78,700 国 県 市債 78,700 基金 その他特財 一般財源 0	既定予算：46,200 飛島大浦港浮桟橋の長寿命化事業の事業内容見直しにともなう事業費の追加 【事業費内訳】 工事請負費 78,700	アンカーブロックの安定を確保するため、基礎工を見直す必要が生じ、床堀及び埋戻に必要な石材が追加となったため。
商工観光課									
19	商工費	商工業振興費	25			創業支援・空き店舗活用事業費補助金	事業費 4,000 国 県 市債 基金 その他特財 一般財源 4,000	既定予算：6,000 創業支援・空き店舗活用事業費補助金の申請者の増に伴う事業費の追加 【事業費内訳】 補助金 4,000 【補助額】1人最大100万円	地域経済の活性化に直結する補助金であり、申請が当初予算額を大幅に上回る見込みであるため。

No.	款	目	予算書 ページ	区分	別紙	事業名	補正額・財源	事業内容	補正理由・効果等
教育総務課									
20	教育費	学校管理費	33			小学校遊具更新事業	事業費 8,000 特定財源 国 県 市債 基金 その他特財 一般財源 8,000	既定予算：なし 小学校の遊具（鉄棒・ジャングルジム・雲梯など）点検を実施した結果、安全基準に適合していない遊具について、修繕・更新・撤去を行う。 【事業費内訳】工事請負費 8,000	安全基準に適合していない遊具を修繕・更新または撤去することにより、児童が安全かつ安心して遊具を使うことができる。
21	教育費	学校管理費（小学校費）ほか	33	新規		学校備品整備事業	事業費 830 特定財源 国 県 市債 基金 その他特財 830 一般財源 0	既定予算：なし 企業版ふるさと納税により、小学校に備品（サッカー用ゴール、学校図書等）を購入する。 【事業費内訳】備品購入費 830 【特定財源】寄附金 【寄附者】(株)松原組	企業版ふるさと納税の受納に伴い、購入を行う。
22	教育費	学校管理費（中学校費）	35	新規		学校備品整備事業	事業費 170 特定財源 国 県 市債 基金 その他特財 170 一般財源 0	既定予算：なし 企業版ふるさと納税により、中学校に備品（学校図書）を購入する。 【事業費内訳】備品購入費 170 【特定財源】寄附金 【寄附者】(株)松原組	企業版ふるさと納税の受納に伴い、購入を行う。
生涯学習課									
23	教育費	公民館費	37			地区公民館管理事業	事業費 60 特定財源 国 県 市債 基金 その他特財 60 一般財源 0	既定予算：14,465 寄附による地区公民館管理委託料の追加 【事業費内訳】委託料 60 【特定財源】寄附金	6月補正予算後に受納した寄附金について、早急に公民館事業に活用するため。

No.	款	目	予算書 ページ	区分	別紙	事業名	補正額・財源	事業内容	補正理由・効果等																
24	教育費	カブトガニ博物館費	37	新規		カブトガニ博物館展示用水槽更新事業	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>事業費</td><td>4,470</td></tr> <tr><td> 国</td><td></td></tr> <tr><td> 県</td><td></td></tr> <tr><td> 市債</td><td>4,000</td></tr> <tr><td> 基金</td><td></td></tr> <tr><td> その他特財</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>470</td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </table>	事業費	4,470	国		県		市債	4,000	基金		その他特財		一般財源	470			<p>既定予算：なし</p> <p>カブトガニ博物館開館以降35年間継続使用しているカブトガニ展示用水槽2基に老朽化によるひび割れがみられるため、更新を行う。</p> <p>【内訳】展示用備品購入費 4,470</p>	<p>水槽等の老朽化により構造的な安全性に重大な懸念があるほか、観察・鑑賞の妨げになることや、水質管理機能やろ過装置の性能の低下によりカブトガニの飼育環境が悪化しているため。</p>
事業費	4,470																								
国																									
県																									
市債	4,000																								
基金																									
その他特財																									
一般財源	470																								
スポーツ推進課																									
25	教育費	体育施設費	39	新規		施設予約管理システム改修委託料	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>事業費</td><td>550</td></tr> <tr><td> 国</td><td></td></tr> <tr><td> 県</td><td></td></tr> <tr><td> 市債</td><td></td></tr> <tr><td> 基金</td><td></td></tr> <tr><td> その他特財</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>550</td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </table>	事業費	550	国		県		市債		基金		その他特財		一般財源	550			<p>既定予算：なし</p> <p>使用料手数料の見直しでスポーツ施設について料金改定を行うことに伴い、施設予約管理システムのシステム改修を行う。</p> <p>【事業費内訳】 電算システム改修委託料 550</p>	<p>来年度4月から料金改定を行うために、事前にシステム改修を行う必要あるため。</p>
事業費	550																								
国																									
県																									
市債																									
基金																									
その他特財																									
一般財源	550																								
26	教育費	体育施設費	39	新規		市民体育センター非常用放送設備購入費	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>事業費</td><td>1,300</td></tr> <tr><td> 国</td><td></td></tr> <tr><td> 県</td><td></td></tr> <tr><td> 市債</td><td></td></tr> <tr><td> 基金</td><td></td></tr> <tr><td> その他特財</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>0</td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </table>	事業費	1,300	国		県		市債		基金		その他特財	1,300	一般財源	0			<p>既定予算：なし</p> <p>企業版ふるさと納税により、市民体育センター非常用放送設備の更新を行う。</p> <p>【事業費内訳】 体育施設用備品購入費 1,300</p> <p>【特定財源】 寄附金</p> <p>【寄附者】(株)松原組</p>	<p>市民体育センターの非常用放送設備について、現在不具合が生じているため、更新を行うことにより、利用者及び職員の利便性向上が見込まれる。</p>
事業費	1,300																								
国																									
県																									
市債																									
基金																									
その他特財	1,300																								
一般財源	0																								
27	教育費	笠岡総合スポーツ公園費	39	新規		笠岡総合体育館トイレ改修工事費	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>事業費</td><td>1,410</td></tr> <tr><td> 国</td><td></td></tr> <tr><td> 県</td><td></td></tr> <tr><td> 市債</td><td></td></tr> <tr><td> 基金</td><td></td></tr> <tr><td> その他特財</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,410</td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </table>	事業費	1,410	国		県		市債		基金		その他特財		一般財源	1,410			<p>既定予算：758</p> <p>令和7年9月初旬に笠岡総合体育館1階の多目的便所の水が流れなくなったり、逆流する現象が起きたことから、配管の修繕を行う。</p> <p>【事業費内訳】工事請負費 1,410</p>	<p>1階の多目的トイレは当該箇所のみであることから、早急に修繕を行う。</p>
事業費	1,410																								
国																									
県																									
市債																									
基金																									
その他特財																									
一般財源	1,410																								

No.	款	目	予算書 ページ	区分	別 紙	事業名	補正額・財源	事業内容	補正理由・効果等														
消防総務課																							
28	消防費	非常備消防費	31			天野基金積立金	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>事業費</td><td>100</td></tr> <tr><td>国</td><td></td></tr> <tr><td>県</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>基金</td><td></td></tr> <tr><td>その他特財</td><td>100</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>0</td></tr> </table>	事業費	100	国		県		市債		基金		その他特財	100	一般財源	0	<p>既定予算：なし</p> <p>指定寄附により受納した寄附金を天野基金へ積み立てる。</p> <p>【事業費内訳】 積立金 100 【特定財源】 寄附金 【寄附者】 大本 敏昭氏</p>	<p>寄附を基金に積み立て、消防施設の整備充実等に役立てる。</p>
事業費	100																						
国																							
県																							
市債																							
基金																							
その他特財	100																						
一般財源	0																						

令和7年度12月補正 (第4号)	事業費	444,290
	国庫支出金	136,710
	県支出金	23,198
	市債	158,600
	基金繰入金	0
	その他特定財源	15,394
	一般財源	110,388

令和7年度12月補正予算の概要（特別会計）

(千円)

No.	款	目	予算書 ページ	区分	別 紙	事業名	補正額・財源	事業内容	補正理由・効果等
国民健康保険事業特別会計									
1	基金 積立 金	保 険 準 備 基 金	53	新 規		国民健康保険 準備基金積立 金	事業費 11,310	既定予算：なし 令和4～6年度に実施した健康ポイント事業のうち、国保被保険者、後期 高齢医療対象者以外の者に支出した報償費の相当額について一般会計から 繰り入れを行い、当該金額を保険準備基金に積み立てる。 【事業費内訳】積立金 11,310	笠岡市国民健康保険準備基金へ積立てることに より、適正な国民健康保険事業の運営に資する。

令和 7 年度補正予算概要【別紙】

予算概要費目別ページ

会計名 一般会計 課名 企画政策課

事業名	開始年度	終了年度	歳出予算科目		
			款	項	目
高齢者タクシーチケット助成事業補助金 (マイナンバーカード実証運行)	R7 年度	R7 年度	総務費	総務管理費	企画費

2 事業の目的、現状と課題、事業実施の必要性等

運転免許証を返納するなどした高齢者の移動手段を確保し、外出機会の増加を促し、高齢者福祉の増進を図ることを目的として実施している本事業について、マイナンバーカード利用へ移行する1月以降、利用者や市議会からの意見をもとに、より利用しやすい制度へ変更する。

令和7年度については、マイナンバーカード移行実証期間（1月～3月予定）を設け、1人2,000円分のポイントを付与する。

なお、令和7年度中のみ、既発行済の紙チケットとの併用での実施となる。

3 具体的な実施内容

【対象者】

満75歳以上の市民、助成対象者及び同居の親族等に市税等の滞納がない者、運転免許証を保持していない者（原付免許のみを受けている者を除く。）

4 直接事業費の事業費内訳（積算根拠）

(单位·千巴)

5 事業費及び財源の内訳

参考(予定)

事業費及び財源の内訳		参考(予定)					
実施年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	終期の設定 [令和 7年度] トータルコスト	
実施項目	タクシー チケット補助						
事業費の計	6,100 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	6,100 千円	
歳出費目内訳 (千円)	負担金、補助及び交付金	6,100 千円	千円	千円	千円	千円	6,100 千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 (千円)	特定財源の計	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源		6,100 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	6,100 千円

令和 7 年度補正予算概要【別紙】

予算概要費目別ページ 1

会計名 一般会計 課名 企画政策課

1 事務事業の概要

事業名	開始年度 R7 年度	終了年度 R7 年度	歳出予算科目		
			款	項	目
			総務費	総務管理費	企画費

2 事業の目的、現状と課題、事業実施の必要性等

令和7年6月13日に閣議決定された地方創生2.0基本構想において、自然資源や自然景観は地方創生2.0における重要な地域資源として位置付けられ、同基本構想の主要政策である政策パッケージにおいて、「地域の自然資源の豊かさと地域の価値を相互に高め合う『自然資本を核としたネイチャーポジティブな地域づくり』を各省庁や関係団体のネットワークにより推進していく」旨が明記された。こうした背景を踏まえ、内閣府地方創生推進室において地方創生×ネイチャーポジティブの推進に向けたモデル支援事業の公募が行われた。

昨年度、過去2番目の多さとなる75匹のカブトガニが捕獲されるなど、カブトガニの生息数が回復の兆しを見せていることを契機に、カブトガニを笠岡市における自然環境・生物多様性のシンボルとして、環境に対する提案・アイデアや政策提言などを通し、笠岡市の関係人口創出を図ることを目的とした事業提案が採択されたことを受けて、地方創生と生物多様性を掛け合わせた事業に取り組む。

3 具体的な実施内容

近隣大学、地元高校、地元企業、行政、漁協などが参加し、キックオフ講演会とフィールドワーク・ワークショップ（各2回程度を予定）を通して、笠岡市の自然環境を活かした環境に対する提案等をしていただく。提案等については、来年度以降、国の補助なども含めて事業化の検討を行う。

4 直接事業費の事業費内訳（積算根拠）

（単位：千円）

歳出費目	内容説明	算出方法	金額
報酬	講師等謝礼	講師1名	200
旅費	費用弁償（学生）	学生10名×2,000円×5回	100

5 事業費及び財源の内訳

参考（予定）

実施年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	終期の設定 [令和 7 年度] トータルコスト
実施項目	講演会等					
事業費の計	300 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	300 千円
歳出費目内訳 (千円)	報酬	200 千円	千円	千円	千円	200 千円
	旅費	100 千円	千円	千円	千円	100 千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 (千円)	特定財源の計	300 千円	0 千円	0 千円	0 千円	300 千円
	寄附金	300 千円	千円	千円	千円	300 千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円

令和 7 年度補正予算概要【別紙】

予算概要費目別ページ 2

会計名 一般会計 課名 デジタル推進課

1 事務事業の概要

事業名	開始年度	終了年度	歳出予算科目		
業務効率化システム導入事業	R7 年度	一 年度	款	項	目
	総務費	総務管理費	一般管理費		

2 事業の目的、現状と課題、事業実施の必要性等

現状、庁内多くの課の業務において、以下の点が課題となっている。

- ①データの入力・集計・転記など、手作業で行う定型業務に多くの時間を費やしている。
- ②何十件（何百件）も手入力・確認を行っているので、人的ミスが発生しやすい。
- ③反復作業が多いため、新規事業の計画や立案など、付加価値の高い業務に時間を割くことが難しい。

本システムを導入することで、下記のとおり業務の効率化が図られる。

- ①定型業務を自動化することで、作業時間を大幅に短縮し、業務全体の効率化を図る。
 - ②手作業によるミスをなくし手戻りを防ぎ、無駄な作業が無くなる。
 - ③反復的な手作業をRPAに任せることで、職員の負担軽減につながり、戦略的な業務に集中できる。
- 本システムを導入することで、時間を要していた単純作業を自動化し業務の効率化を図ることとともに、職員数が今後減っていったとしても、市役所の機能維持を図る。

3 具体的な実施内容

AI-OCR（書類に記載されている文字を読み取り、テキストデータに変換するもの）とRPA（人がパソコン上で行う定型的な操作を、ロボットに自動実行してもらうもの）の導入。

今年度は、税務課の還付請求書入力業務等に適用し、作業時間の短縮・削減を行う。

導入当初は、ベンダのサポートを受けてシナリオ作成を行うが、次年度以降では、内製化できるようにするとともに、デジタル推進課以外でもシナリオを作成できるよう、各課DX推進担当者等の人材育成も行う。

4 直接事業費の事業費内訳（積算根拠）

（単位：千円）

歳出費目	内容説明	算出方法	金額
使用料及び賃借料	RPAライセンス利用料	@110,000円/月 × 1.1 × 2月	242
使用料及び賃借料	RPAシナリオ作成等サポート利用料	@625,000円 × 1.1	688
使用料及び賃借料	AI-OCR利用料（従量課金）	@3円/枚 × 3,000枚 × 1.1 × 2月	20

5 事業費及び財源の内訳

参考(予定)

実施年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	終期の設定 [令和 年度] トータルコスト
	実施項目	導入	継続運用	継続運用	継続運用	
事業費の計	950 千円	2,239 千円	3,003 千円	3,003 千円	3,003 千円	0 千円
歳出費目内訳 (千円)	使用料及び賃借料	950 千円	2,239 千円	3,003 千円	3,003 千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
財源内訳 (千円)	特定財源の計	0 千円				
	特定 財 源	千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
		千円	千円	千円	千円	千円
一般財源	950 千円	2,239 千円	3,003 千円	3,003 千円	3,003 千円	0 千円